



新入生の学部 273 名、大学院の 5 名の皆さん、ご入学おめでとうございます。昭和薬科大学へようこそ。皆さんを新たな仲間として迎えることを、教職員一同、心より喜んでおります。本学を代表し、お祝いと歓迎の意を表します。また、ご列席のご家族や関係者の皆さまにも、心からお慶び申し上げます。

新入生の学部の皆さんは、中学生時代、新型コロナウイルス感染症の蔓延という困難な状況を経験しました。さらに、今、世界はロシアによるウクライナ侵略、イランとイスラエル・アメリカの衝突など、誰も予測し得なかった危機に直面しています。未来を見通すことがますます難しい時代になっています。

こうした予測困難な時代を生き抜くには、「正解を覚え、良い点数を取る」だけの学びでは不十分です。これからの 6 年間で、皆さんには次の 4 つの力を身につけて欲しいと願っています。

- ・問題を発見し解決する力、
- ・正解のない状況で最善を選び取る力、
- ・想定外の事態に柔軟に対応する力、
- ・そして新たな価値観を作り出す力です。

大学院生の皆さんは、これらの力を培いながら学部を卒業し、本学大学院へ進学されました。博士の 4 年間を通じて、専門分野のリーダーとして医療の発展に寄与できる人材へと、さらに成長されることを期待しています。

今、社会は AI の急速な発展によって大きく変わろうとしています。私も日々の業務の中で AI を活用しており、この訓示も最終的な校正に AI を用いています。皆さんも本学で 6 年間の学びの中で、効率的・効果的な学修のために AI を活用する機会が増えていくでしょう。AI は医薬品開発、ライフサイエンスの研究、さらには医療現場においても活用が進んでいます。しかし、皆さんに強く伝えたいことがあります。薬剤師という職業の中には、将来 AI に置き換わる部分は確かに存在します。しかし、その業務の全てを AI に置き換えることはできません。

薬剤師は、「人の命に寄り添い、状況に応じて最適な判断を下す薬物治療の専門職」です。様々な情報処理の一部はAIが担えるとしても、責任をもって判断し、患者さんの人生に向き合うことは、人間である薬剤師にしかできません。

現在のAIには代替できない薬剤師の役割として以下を挙げるすることができます。

- ・患者さんの不安や生活背景を理解し、治療に反映する力
- ・副作用や相互作用を、患者ごとの状況に応じて総合的に判断する臨床的思考
- ・多職種と協働し、チーム医療を支えるコミュニケーション能力
- ・患者さんの価値観や人生観に寄り添う姿勢 などです。

これらは、現在のAIがまだ苦手とする「総合的に人間を理解する」といった領域です。皆さんは、この6年間でこれらの力の基礎をしっかりと身につけて欲しいと思います。

また、薬剤師は、医療を支えるエッセンシャルワーカーです。災害時やパンデミック時、社会が混乱したとき、薬剤師は必ず現場に立ち続け、人々の命と健康を守ってきました。薬剤師のみならず、他の医療従事者も同様です。AIが進化しても、この使命は変わりません。災害時やパンデミック時には想定外の対応を迫られます。そういうときでも、医療従事者としての誇りと使命のもと対応できる薬剤師になってください。

さて、話は大きく変わりますが、先週からNHKの朝の連続テレビ小説が始まりました。今回は、日本最初の職業看護師・大関和（おおぜき ちか）さんをモデルとした物語です。皆さんは、これから医療の道を歩み始めます。その第一歩にあたり、薬学ではありませんが、医療人としての先人の姿を紹介したいと思います。

大関さんは、「日本のナイチンゲール」と呼ばれた方です。看護がまだ社会的に低く見られていた時代に、科学的な知識に基づく看護を日本に根づかせた先駆者でした。

帝国大学附属病院で看護婦長（当時の表現）として働き、「清潔」「消毒」「観察」という当時としては革新的な看護を徹底し、患者の回復率を大きく高めたと言われています。

しかし大関さんが偉大なのは、技術ではありません。身分差別が色濃く残る時代に、「すべての患者を等しく尊厳ある存在」として扱ったのです。その姿勢は、現代の医療倫理の核心そのものです。

今日入学された皆さんにも、どうか大関さんのように、知識を磨き、技術を高め、そして人間を尊ぶ心を持ち続けてください。医療は科学であると同時に、人間の営みそのものです。皆さんのこれからの学びが、誰かの人生を支える力となることを願っています。

さて、今日から始まる大学生活に、期待と不安が入り混じっていることでしょう。本学は、小規模な大学ですので、その分、学生と教職員の距離が近く、緑豊かな環境の中で学ぶことが特徴です。困ったことがあれば、遠慮なく教職員に相談してください。皆さんが安心して充実した学生生活を送れるよう、大学全体でサポートしていきます。学生同士も、同じ目標に向かって学ぶ仲間です。多くのつながりを作り、充実した6年間を過ごしてください。そして、「昭和薬科大学で学んでよかった」と思いながら卒業し、卒業後もそう思えるような大学生活を送ってください。

結びにあたり、皆さんに一つの言葉を贈ります。これは、私が学長に就任して以来、新入生や卒業生に必ず伝えている言葉であり、私の中学・高校時代の恩師である校長先生が、常に口にされていた言葉でもあります。

「命を大切に」 繰り返します。

「命を大切に」

これは、自らの命はもちろん、他者の命を大切にすること、そして人に限らず、動物、植物、地球上のあらゆる生命を尊重するという意味を含んでいます。医療とは、まさに「命を大切に」する営みです。すべての生命には限りがあります。その限られた命の尊厳を守ることを、どうか忘れないでください。これは、人としての普遍的な価値であると私は信じています。

皆さんが、学部の6年間、大学院の4年間を通じて、充実した学生生活を送り、大きく成長されることを心より願い、訓示といたします。

令和8年4月5日

昭和薬科大学学長 宇都口直樹